

山田小学校だより ((Metamorphose))



文責 校長 谷川 晴峰

人は一生のうちに、三度絵本と出会います！

時を経て語り継がれていくものは、様々にあると思いますが、人間の記憶もその一つだと思います。記憶という「行為」は、人間の脳が果たす重要な機能です。人間の脳は、大脳・脳幹・小脳から成り立っています。新しくものを覚えるというとき、前頭葉や頭頂葉、後頭葉から入った情報（短期記憶）が海馬に流れ込み、ここでまとまりのある情報として整理されて、中期記憶となります。この中期記憶が強化されると側頭葉に移り、長期記憶となって大脳皮質の様々なところで保管されます。

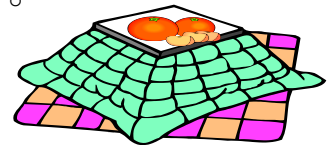
話が少し分かりにくいと思いますが、お許し下さい。人の記憶・・・換言すれば「思い出」と表現した方が、分かりやすいかもしれません。誰にでも、生まれて初めての絵本や本との出会いがあるはずです。ちなみに私の記憶に残っている最初の「本」らしきものは、「レ・ミゼラブル（ああ無情）」でした。多分、親にせがんで買ってもらったような気がします。保護者の皆様方が目にした最初の絵本や本について、子供たちに話してあげては如何でしょうか。読書は脳を耕します。同時に心も耕してくれるはずです。

耕す・・・（英語では、CULTIVATE）は、農業（AGRICULTURE）という単語とも関連があります。更には、文化（CULTURE）という言葉へと派生しています。秋の夜長、テレビを消して親子で読書を！できれば今夜あたり、童心にかえって、絵本を開いてみませんか？

「人は一生のうちに、三度絵本と出会う」と思います。



- <幼い頃、親に読んでもらって>
- <親になり、子どもに読んであげて>
- <そして年老い、人生を振り返りながら>



できるだけ、季節感あふれる題材の絵本を選んで読んであげてください。

御存知ですか？【リフレーミング】！人間関係の潤滑油です！

「リフレーミング」という言葉を耳にしたことはありますか？あまり聞き慣れない言葉かもしれませんが。カタカナよりも英語で表記した方が分かりやすいかもしれません。【reframing】のreは、もう一度とか再度ということを意味します。【frame】という単語は、ある枠組み（フレーム）を意味します。つまり、ある枠組みで捉えられている物事を、その枠をはずして、新たな視点や概念で見直すという考え方です。

例えば、「あの人は変わっている。」という表現も、「あの人は、味のある・個性的な人物だ！」と変換することで、対人関係も随分と違ったものになると思います。私たちの日常は、どちらかというとな否定的な言葉に満ちているような気がします。特に家庭や職場では、あまり深く考えずに発言し周りの人を傷つけている場合も少なくないのではないかと思います。「物は言いよう」という言葉もあります。多忙を極める現代ですが、「リフレーミング」の考え方は、世の中を丸くしてくれるかもしれませんね。